

民報 ゆうばり

「第31回市民音楽の夕べ」開催

「櫻井あきさんを囲む集い」住み続けられるまちへ期待ふくらむ



コール・リラのみなさん



コール・ポピーのみなさん

★コール・ポピー
3番目出演の女声
合唱コール・ポピー
は、♪にじ(中川ひ

★コール・リラ
2番目出演の女声
合唱コール・リラは、
♪夢路より(フオス
ター作曲)、♪歌のつ
ばさ(メンデルスゾ
ーン作曲)、♪野ばら
(シューベルト作
曲)、♪モルダウの流
れ(スメタナ作曲)、
♪荒城の月(滝廉太
郎作曲)の5曲を歌
いあげました。

夕張音楽協会加盟五団体がリサタで3年ぶりに演奏披露

3日、リサタ多目的ホールで、『第31回市民音楽の夕べ』が開催されました。コロナ禍で「マスク着用」のうえ、3年ぶりの開催です。会場のホールは感染防止のため、消防署のチェックを受け、事前に準備した70席は埋め尽くされ、100名を超える聴衆が参加しました。

★レコード愛好会
プログラム内容は夕張レコード愛好会は♪トリッチ・トラッチ・ポルカ(ヨハン・シュトラウス作曲)、♪BLOOD Y STREAM(大森俊之作曲)、♪JACK THE RIPPERS(タミアン・浜田作曲)の3曲をチエロアンサンブルETCで鑑賞しました。



夕張市民吹奏楽団のみなさん



リンデンコールのみなさん

ろたか作曲)、♪風(端田宣彦作曲)、♪いのちの歌(村松崇継作曲)、♪瑠璃色の地球(平井夏美作曲)の4曲を披露しました。

★夕張市民吹奏楽団
4番目出演の夕張市民吹奏楽団は、♪限界突破Xサバイバル(岩崎貴文作曲)、♪ロンドンデリーの歌(アイルランド民謡)、♪恋人がサンタクロース(松任谷由実作曲)の3曲を演奏しました。

★リンデンコール
最終番出演は混声合唱リンデンコールで、「アヴェエマリア」と題された歌曲を4つ披露しました。1曲目♪カッチーニ作曲、2曲目♪バツハ作曲、3曲目♪グノー作曲、4曲目♪シューベルト作曲、4曲目♪マスカーニ作曲でした。

この日を楽しみに、会場に足を運んだ市民からは、それぞれに大きな拍手がおり、盛況のうち閉会しました。

「櫻井あきさんを囲むつどい」末広 恵集会所で開催



12月10日(土)、末広恵集会所において、「櫻井あきさんを囲む集い」が開催され、20名が参加しました。

櫻井さんは、周囲の声を集めて、高校時代には「生徒会での制服をめぐる活動」や、子育て中に「小学校に水筒を持たせること」、「授業参観日に障がいを持った方を含めて休憩できる控室を用意すること」等を実現させてきたことを話し、「今度は議員として、皆さんの声を議会に届けていけるよう、これまで以上に皆さんの声をしっかりと聞き、活動していきたい。」と決意をのべました。

また、京都の支援者からの櫻井さんへの激励と熊谷市議へのねぎらいの品が手渡されました。



「櫻井あきさを囲む集い」 南清水沢りすたでも

11日(日)はりすたで「つどい」が開催され、23名が集まりました。

最初に櫻井あきさんが「これまでの活動の紹介や抱負」を述べた後、くまがい桂子市議が、約20年にわたる市民や国会・道議会と連携した活動を振り返り、「未達成なことを櫻井さんに託したい」と話しました。



京都の支援者からの「激励とねぎらいの品」を受け取る二人

両会場の参加者からは、「コンパクトシティ政策は住む人を中心としたものに」、「デマンドバスの増便」や「乗り合いタクシー」など、きめ細やかな公共交通の要望、「除雪を頼める人がいなくて困っている」、子育て世代を増やすための「企業誘致・定住や移住してきたくなる政策作り」に、市民を巻き込んで運動を」等々、活発な意見交換が行われました。

櫻井さんは、「率直なご意見や要望をいただき、どこの地域でもこれから夕張に希望と期待を持つておられることを改めて感じました。つどいでの声を政策づくりに反映し、みなさんと一緒に笑顔で暮らせる夕張を目指していきたい」と思っています。と決意を語っていました。

くずさんの 夕張歴史散歩(193)

人間の働くところでない

(高温現場でのたたかい②)

サウナの中の重労働

地熱は一旦高温になると簡単には下がりにません。しかも湿度も異常に高く、サウナ状況の中の重労働になります。

入坑する労働者は、家を出るときに2リットルのペットボトルの焼酎瓶に水を入れ、キンキンに凍らせ、それを2本新聞紙に固く包み、弁当と着替えと共にスコミに入れて入坑します。これがお昼時には、程よく溶けて飲み頃になると言います。

それほど暑い現場で働くのですから、脱水状況になる労働者が続出したと言います。

裸同様の労働

身体が水を要求します。水を飲むと汗は吹き出し水をかぶったようです。そうなると作業衣など着ていられます。しかし、坑内では裸労働は禁止されています。が、裸同様に作業しても係員は見えないふり状態といえます。

現場からの要求とたたかい

記録によると、この年7月になると現場では33.4度まで上がりました。当然にこの高温に対して「なんとかしろ」の声は高まります。

現場では、高温対策と作業量の削減を求め、早上がり

を要求して現場交渉に入ります。しかし会社がとった方策は、入坑前に岩塩や栄養剤を配ったり、現場に氷柱を置くぐらいで、まさに焼け石に水でした。この状態の下でも時間一杯働かせ、あまつさえ残業を求めてくる始末です。

*ベルトコンベアの表面のゴムをはがした後のズッグを利用して作った、坑内で使用する道具や弁当を入れる肩かけカバン



紙智子「国会かけある記」
参議院議員

紙智子

統一地方選挙全員勝利を

コロナ禍でしばらくぶりの開催となった三つの集いに参加しました。

北海道商工団体連合会(北商連)の創立60周年記念式典は、中小業者のくらし・生業を守り業者の願い実現のために日々奮闘されてきた民商の存在意義を痛感。消費税減税、業者やフリーランスを廃業に追い込むインボイス中止への決意とともに「平和であってこそ商売できる」と、戦争政策につながるあらゆる動きを阻止する決意が示されました。

手稲区では、来年の札幌市議選で二期目の挑戦めざす佐々木明美市議必勝の党と後援会の決起集会が開かれました。支援者から、「新幹線トンネル工事が出る有害残土の処理の予定地にされ不安でいっぱい。他会派の議員が関わろうとしないなかで、佐々木明美さんだけが地域住民の声を聞き、寄り添い住民への説明会を要求し、札幌市や鉄道運輸機構に意見を述べる場をつくってくれた。大きな励みになった」と実績紹介があり、必勝を訴えました。三つ目は石狩市花川での演説会です。

長年の議員活動を続けてきた蜂谷三雄市議とみさき伸子市議が引退します。来年5月の市議選に二期目の挑戦をめざす松本きくえ市議に、新人の蜂谷高海さん、山崎さちこさんが立候補の決意を語りました。

新人二人は両親が日本共産党の議員です。住民の相談に乗り、解決に奔走する親の姿を見て育ちました。二人のフレッシュコンビの決意表明に、参加者全員が希望に胸を熱くして、全員の勝利への決意を誓いました。